一誌一句（受贈誌２・３月号他より）

米田　透　抄出

楸邨の宇宙に遊ぶ筆始　（　椎　）　村松　二本

鳩小屋のうへに十一月の空　（やぶれ傘）　大崎　紀夫

初凪の湖底に見えし鳥居かな　（　陸　）　中村　和弘

臨時ニュースある度思ふ開戦日　（雅楽谷）　中田　水光

雲一つなきと冬木が語り出す　（小熊座）　髙野ムツオ

天高し名門校の半ズボン　（海　光）　林　誠司

赤子の頭咬みてめでたき獅子頭　（　斧　）　はりまだいすけ

今日の一日明日の一日冬紅葉　（　暁　）　桑田　和子

令和の冬敗戦直後の冬に生れ　（松の花）　松尾　隆信

空を濡らせり薄氷を持ち上げて　（　研　）　山本　一歩